



鶴からの手紙

真鶴中学校だより 第二五四号

2023

9.5

責任者
市川 麻美

「二学期 すべり出しは順調」

八月三十日にスタートした二学期。今年も生徒の皆さんの元気な顔を見て、本当に安心しました。保護者をはじめ地域の皆様に深く感謝いたします。

今年の夏休みは、通常通りにお祭りなども実施されたと思います。大いに楽しめたでしょうか？

お盆の期間は、台風の影響で関東地方でも大きな影響がありました。海や川での悲しい事故や、熱中症で中学生が亡くなるなど、大変ショッキングなこともありました。改めて自分の安全を自分で守ることの重要性を感じました。

自習室（図書室）も例年どおり開設し、教科相談日も実施しました。活用できたでしょうか。

先週、「スーパームーン」 見ましたか？

一年のうちで最大の満月はスーパームーンと呼ばれ、同じ月に二回

満月がある時、二回目の満月をブルームーンと呼ぶそうです。今年八月の満月は二日と三十一日で、三十一日の満月はブルームーン（より明るく見える）でありスーパームーンでもありました。三十一日未明から明け方にかけて見える満月が「スーパームーン」だったのです。普通の満月より十〜十五%大きく、二十〜三十%明るく見えるはずだそうです。実際にはほとんどの人の目には同じに見えるようですが、私の目にはとても大きく見えました。感動しました。

真鶴は自然豊かな地域ですから、是非、時々、立ち止まって深呼吸したり、ゆっくり海を眺めたり、空を見上げたりしてほしいと思います。自然といえ、もう一つ、百年前の九月一日の関東大震災について、どんなことを意識して生かすべきか考えてほしいです。中学生は、地域の頼れる存在です。災害が起きてしまったときに、町で一番動ける存在だということを自覚して、いざと

いうときしつかり考え、命を守る行動をとってください。

まだまだ猛暑が続いています。始業式でも話しましたが、ゆっくりと進んでいきましょう。

「花が咲くのは年に一度 後は静かに時を待っている あくせくするのは止めよう 一度でいいひとつでいい」（星野富弘『花よりも小さく』花の詩画集より）

「駅前清掃を終えて」

私の班が担当した歩道橋とその周辺は、目立ったゴミはほとんど見受けられませんでした。歩道橋を利用する人々は皆、綺麗に使っているから、その状態が長く保てているのと思いました。

担当した場所以外にも、歩道橋にあるエレベーターの中の清掃を行いました。中には、枯れ葉が少しだけ落ちていました。外出先で利用する時などは、あまり気にしていませんでしたが、いざ清掃をしてみると、

エレベーター内の印象が良くなり、達成感も味わえました。

何か機会がないと、このような場所の清掃はしませんが、駅前清掃を行ったことにより、気にかけないような場所の清掃の大切さが分かりました。

二年一組 朝倉 涼奈

「夏休み中の部活動」

夏休み中に行われた大会やコンクールの結果を報告します。

「県中体連総合体育大会」

柔道の部

三年島川夕莉彩さんが、個人戦と団体戦で五位入賞。

水泳の部

二年向笠莉央さんが、100M自由形に出場。

「地区中体連総合体育大会」

陸上競技の部

二年富田龍成さんが、共通1500Mに出場。

「西湘吹奏楽コンクール」

中学生B部門 金賞

科学部と美術部も、学習活動発表会に向けて、熱心に活動しています。十月号で紹介予定です。



吹奏楽部の大会を終えての感想を紹介します。

私たちは、一・二年生だけの少人数でしたが、コンクールに出場し、金賞をとることができました。この賞をとれたのは、仲間や先生、家族、先輩などたくさんの方の支えがあったからこそだと思います。また、決められた練習時間の中で、個人個人が練習を積み重ねた結果が現れたと思いました。

私は、このコンクールで仲間の大切さを改めて実感しました。思うようにいかないときや、本番前で緊張しているときにも、声をかけ励ましてくれました。そのおかげで本番には、自信を持って演奏することができました。

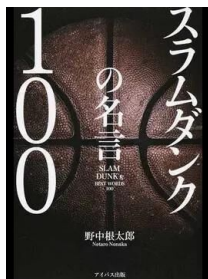


(写真提供 株式会社フォトライフ)

心に本の種を蒔こう

～図書室の本棚から～

今年は3月のWBCに始まり、女子サッカー、世界陸上、バスケットボール、ラグビーと、ワールドカップ(WC)が開催されました。(ラグビーは10月)スポーツ好きには、どれも目が離せませんね。よく知らなかったけど、見ていたらなんか感動した、そんな人もいませんか。そこで今回はスポーツにまつわる本を紹介します。



1冊目は「スラムダンクの名言100」です。名言集の良い所は、どこから読んでもよいこと、気になったところを読めばいいことです。それに加えて「スラムダンク」となれば、マンガを知っている人なら、言葉からきっとその場面がよみがえってきます。

『オレに今できることをやるよ!! やってやる!!』

桜木花道』

2冊目は「心を整える」です。著者の長谷部誠さんはサッカー元日本代表で3度キャプテンとしてWCに出場しました。「心を整える」とは「乱れた心を本来の状態に戻す」「きちんとさせる」ということ。「落ち着かない」「集中力が欠けているな」今の自分の心の状態を知って、これじゃあいけないな、と思ったら、読んでみてください。

『意識して心を鎮める時間を作る。』

『目には見えない、土台が肝心。』



「町総合防災訓練」

二年一組 松本彩那

これから学習活動発表会や音楽会、アンサンブルコンテストなどに向け、たくさんの方への感謝の気持ちを忘れず、仲間と協力し合いながら練習したいと思います。そして、より多くの人に楽しい演奏を届けていきたいです。

九月三日の日曜日に、町立体育館で防災訓練が行われました。二百名程度の参加がありました。残念なことには、中学生の姿は見当たらず、体育館の中では、簡易テントや段ボールベッドの設置、AEDを使った心肺蘇生法の体験などがありました。外では、自衛隊が炊き出しでカレーを作っていました。もしもの事があつたときに、テントやベッドの設置は中学生が行うといいのではと感じました。一度で



教頭

も経験をしておくのと、していないのでは、かなりの差があると思います。今後、どこかのタイミングで体験ができることを期待しています。